

# あすぶろ「アップルゲート断熱」応援隊

## 【アップゲーは火にも強い】

火事になったとき、住んでいる人を守ってくれることも、断熱材の重要な機能です。

アップルゲートはその優れた防火性能が認められ、**断熱材で唯一**、あいおいニッセイ同和損保の火災保険において**大変お得な設定**がなされています。**火災現場では850度以上の高温**となるため、そのテストに合格する必要がありますが、**グラスウールやウレタン吹付けでは無理**です。

隣家からの火事の場合には、窓ガラスのアルミ部分やガラスが先に溶けてしまいましたが、断熱材が火に強いにこしたことはありません。

アップルゲート セルローズ断熱は、独自の耐火加工と高密度施工で、燃えにくい断熱層を作っています。

防虫・防カビ剤として使われている**ホウ酸**にも**防火作用はありますが、十分ではない**ため、アップルゲートセルローズ断熱では、加えて米国特許のPF24という人体に無害な液体耐火剤を使用しています。消火器にも使われる硫酸が主成分です。



あすぶろは「わたしの手は、だれかの翼。」の理念に共感し、活動する企業を応援しています。

ホウ酸を材料に混ぜるだけでなく、液体耐火剤をセルローズ繊維の中まで浸透させることにより**耐火性能を格段に向上**させているのです。

具体的には、それぞれ間仕切り壁の内外の12.5ミリ×2枚の石膏ボードの間に、柱のサイズ105ミリのアップルゲートセルローズをはさみ、合計155mmの壁を、**外側を900度で1時間熱しても、内側の温度は31度だった**という実験結果があります。

これは表面に炭化被膜を形成され、それがバリアとなって内側には酸素が吸収されないために、絶大な防火効果が得られるのです。

配線類も燃えずに残ります（しかし、他のセルローズファイバーの場合には接着力が弱いいため、熱でくずれてしまい、同様の断熱効果は得られない可能性が高いと思われます）。



間仕切り壁155mm  
裏面温度は何と31度



炎の温度は900度



炭化被膜で炎が  
侵入しない



表面だけ炭化し中は  
影響なし、自沈しない